

平成26年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年4月14日

上場会社名 株式会社サダマツ 上場取引所 東
 コード番号 2736 URL <http://www.sadamatsu.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 貞松 隆弥
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略室長 (氏名) 磯野 紘一 TEL 03 (5768) 9957
 四半期報告書提出予定日 平成26年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期第2四半期の連結業績 (平成25年9月1日～平成26年2月28日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第2四半期	4,091	3.3	113	50.5	97	44.5	41	195.9
25年8月期第2四半期	3,962	△1.2	75	△56.2	67	△54.5	13	△75.7

(注) 包括利益 26年8月期第2四半期 52百万円 (27.1%) 25年8月期第2四半期 40百万円 (△30.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期第2四半期	3.67	3.60
25年8月期第2四半期	1.25	1.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年8月期第2四半期	6,120	1,458	23.6
25年8月期	5,758	1,423	24.5

(参考) 自己資本 26年8月期第2四半期 1,441百万円 25年8月期 1,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	—	0.00	—	2.00	2.00
26年8月期	—	0.00	—	—	—
26年8月期 (予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年8月期の連結業績予想 (平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,150	3.2	170	30.2	140	32.3	25	148.1	2.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年8月期2Q	11,387,000株	25年8月期	11,387,000株
② 期末自己株式数	26年8月期2Q	135,819株	25年8月期	135,284株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年8月期2Q	11,251,521株	25年8月期2Q	11,126,869株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年9月1日～平成26年2月28日)におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和策の効果により、企業収益の改善や個人消費に持ち直しの動きがみられるなど、緩やかながら回復基調となりました。しかしながら、消費税率引き上げによる個人消費への影響に加え、新興国経済の成長鈍化といった海外経済の下振れ懸念もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社が属する宝飾業界におきましては、株価上昇に伴う資産効果や景気回復の期待感を背景に、高額品消費の活発化が目立ち、消費税増税前の駆け込み需要とみられる動きも相俟って市場規模としては拡大基調で推移しました。一方、強まりつつある消費の二極化への対応に加え、特にブライダルジュエリーを中心に顧客の争奪戦が益々激化しており、事業環境については厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における当社グループは、引き続き成長軌道の確立に向けた重点施策として「ブランド力の向上」、「販売力の強化」、「SPA体制の構築」に取り組んでまいりました。

「ブランド力の向上」については、当社が志向する精神価値訴求型のブランド戦略を推進すべく開発した特別なカットによりダイヤモンドの中に大小2つの星が映し出されるジュエリー“Wish upon a star”を基軸に、「夢を叶える星のダイヤモンド」をコンセプトとした訴求活動を展開し、商品ブランドの浸透によるコーポレートブランドの確立にチャレンジしてまいりました。

「販売力の強化」については、確実な需要が見込めるブライダル商品のシェア拡大を目指すべく、ブライダル需要獲得に向けた差別化商品として“Wish upon a star”の投入を拡大したことから、商販一体となる取り組みとして教育プログラムの再整備を行い、接客提案力の向上に努めました。また、CRMの再整備を行うことで顧客ニーズの掘り起こしによる再来店の促進に注力しました。

「SPA体制の構築」については、高価格帯を含め同商品の生産拡大に対応するため、SPA体制の基盤となるベトナム子会社との連携を強化しました。さらに、正確な受注・発注体制を再整備し、売上機会の損失や欠品率の低減を図るとともに、品質管理や工程管理の安定性を確保することで、更なる品質の向上と供給体制の整備を進めました。

このような取り組みにより、“Wish upon a star”の売上構成比は14.8%となり期初計画を上回るなど好調に推移し、ブライダル関連商品の売上についても前年同期比18.3%増となり業績を下支えしました。さらに、店舗数が前年同四半期末時点から7店舗純増したことや、百貨店内店舗における売り場面積の拡張が実現したため、売上高は前年同期比で3.3%増加しました。また、ブライダル関連商品の販売好調により受注残高が前年同期比55.8%増加し、それに対応すべく商品を生産したため、在庫が拡大する状況となりましたが、これは下期以降の売上構築に寄与するものであります。一方、このような受注生産商品の増加傾向に対応するため、さらなる商品供給サイクルの短縮化に取り組んでまいります。

売上総利益に関しては、前年同期に比べ8.8%の増加となりました。これは、“Wish upon a star”シリーズなどの高付加価値商品の販売強化に加え、ベトナム子会社の有効活用により同社製品の売上高構成比が35.7%に上昇したことで全体的な商品原価の低減に寄与し、売上総利益率を3.3ポイント押し上げたことが要因となります。

販売費及び一般管理費に関しては、プロモーションイベントを中心としたブランド強化策の推進に加え、新規出店に伴う出店費用や維持管理費用、さらに販売スタッフの補強や将来成長に備えた人材育成のために要した費用等が影響し、前年同期に比べ7.5%増加しました。

海外小売部門である在ベトナム子会社の台湾貞松股份有限公司(日本名:台湾貞松株)に関しては、引き続きグループマネジメント体制の強化を進めた結果、収益性が大きく改善しました。海外生産部門である在ベトナム子会社のD&Q JEWELLERY Co., Ltd.(日本名:ディーアンドキュー ジュエリー)に関しては、SPA体制の構築に対応するため、製造機能の向上によるグループ全体の合理化・効率化を図りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高4,091百万円(前年同四半期比3.3%増)、営業利益113百万円(前年同四半期比50.5%増)、経常利益97百万円(前年同四半期比44.5%増)、四半期純利益41百万円(前年同四半期比195.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は6,120百万円となり、前連結会計年度末に比べ362百万円増加いたしました。その要因は主に、現金及び預金が103百万円減少したものの、商品及び製品が329百万円、原材料が69百万円、繰延税金資産(流動資産及び投資その他の資産)が23百万円、有形固定資産が7百万円増加したものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は4,662百万円となり、前連結会計年度末に比べ328百万円増加いたしました。その要因は主に、支払手形及び買掛金が141百万円減少したものの、借入金の総額が367百万円、未払法人税等が68百万円、賞与引当金が32百万円増加したものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は1,458百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円増加いたしました。その要因は主に、配当金の支払22百万円があったものの、四半期純利益41百万円、為替換算調整勘定が10百万円増加したものであります。

この結果、自己資本比率は23.6%となり、前連結会計年度末に比べ1.0ポイント減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月期の通期業績予想については、平成25年10月11日付「平成25年8月期決算短信」にて発表した内容に変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	728,889	625,282
受取手形及び売掛金	598,635	605,484
商品及び製品	2,743,835	3,073,473
原材料	414,384	484,332
繰延税金資産	18,587	38,658
その他	108,055	127,618
貸倒引当金	△1,199	△1,236
流動資産合計	4,611,187	4,953,613
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	403,082	433,660
減価償却累計額	△202,333	△227,378
減損損失累計額	△9,010	△9,010
建物及び構築物 (純額)	191,738	197,271
機械装置及び運搬具	56,745	60,811
減価償却累計額	△41,627	△46,978
機械装置及び運搬具 (純額)	15,117	13,832
工具、器具及び備品	180,973	195,620
減価償却累計額	△115,456	△125,900
減損損失累計額	△904	△904
工具、器具及び備品 (純額)	64,612	68,815
土地	90,478	90,478
リース資産	123,654	136,293
減価償却累計額	△48,851	△61,978
リース資産 (純額)	74,802	74,314
有形固定資産合計	436,750	444,712
無形固定資産	14,039	13,523
投資その他の資産		
投資有価証券	97,619	97,928
繰延税金資産	55,357	58,892
差入保証金	439,374	446,917
その他	102,587	104,953
貸倒引当金	△6,076	△6,224
投資その他の資産合計	688,862	702,467
固定資産合計	1,139,652	1,160,702
繰延資産	7,526	6,397
資産合計	5,758,366	6,120,714

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	772,674	631,077
短期借入金	1,780,906	1,980,910
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払金及び未払費用	450,946	444,949
未払法人税等	20,673	89,274
賞与引当金	21,961	54,816
その他	188,721	237,623
流動負債合計	3,335,884	3,538,650
固定負債		
社債	250,000	200,000
長期借入金	443,521	610,565
退職給付引当金	152,378	162,103
その他	152,672	151,323
固定負債合計	998,571	1,123,991
負債合計	4,334,456	4,662,642
純資産の部		
株主資本		
資本金	743,392	743,392
資本剰余金	550,701	550,701
利益剰余金	155,658	174,418
自己株式	△12,674	△12,746
株主資本合計	1,437,077	1,455,764
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	83	392
為替換算調整勘定	△24,921	△14,411
その他の包括利益累計額合計	△24,838	△14,019
新株予約権	11,671	16,326
純資産合計	1,423,910	1,458,071
負債純資産合計	5,758,366	6,120,714

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)
売上高	3,962,021	4,091,083
売上原価	1,563,879	1,480,762
売上総利益	2,398,141	2,610,320
販売費及び一般管理費	2,322,442	2,496,416
営業利益	75,699	113,904
営業外収益		
受取利息	766	591
受取家賃	571	571
協賛金収入	1,952	2,786
為替差益	11,347	4,232
その他	1,066	580
営業外収益合計	15,704	8,762
営業外費用		
支払利息	18,970	17,706
社債利息	1,321	1,017
社債発行費償却	1,128	1,128
社債保証料	1,594	1,248
支払手数料	—	3,142
その他	979	1,014
営業外費用合計	23,995	25,257
経常利益	67,408	97,409
税金等調整前四半期純利益	67,408	97,409
法人税、住民税及び事業税	42,733	79,752
法人税等調整額	10,729	△23,606
法人税等合計	53,463	56,146
少数株主損益調整前四半期純利益	13,944	41,262
四半期純利益	13,944	41,262

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,944	41,262
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	392	309
為替換算調整勘定	26,626	10,509
その他の包括利益合計	27,018	10,818
四半期包括利益	40,963	52,081
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	40,963	52,081

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	67,408	97,409
減価償却費	51,711	60,203
株式報酬費用	6,983	4,655
退職給付引当金の増減額(△は減少)	13,541	9,725
賞与引当金の増減額(△は減少)	△19,092	32,856
貸倒引当金の増減額(△は減少)	165	29
受取利息及び受取配当金	△796	△669
支払利息	21,887	19,971
社債発行費償却	1,128	1,128
支払手数料	—	3,142
為替差損益(△は益)	△11,857	△4,686
売上債権の増減額(△は増加)	84	△6,217
たな卸資産の増減額(△は増加)	△70,645	△389,667
仕入債務の増減額(△は減少)	46,001	△141,850
その他の資産の増減額(△は増加)	△5,058	△17,771
その他の負債の増減額(△は減少)	△52,179	33,351
小計	49,281	△298,388
利息及び配当金の受取額	796	669
利息の支払額	△22,474	△21,335
支払手数料の支払額	—	△3,142
法人税等の支払額	△123,510	△12,277
営業活動によるキャッシュ・フロー	△95,906	△334,474
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△43,674	△38,847
無形固定資産の取得による支出	△927	△2,104
差入保証金の差入による支出	△15,885	△11,855
差入保証金の回収による収入	15,415	4,538
投資有価証券の取得による支出	△700	—
その他の支出	△7,799	△4,402
その他の収入	1,746	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,825	△52,670
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	250,000	200,000
長期借入れによる収入	200,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△184,014	△232,952
リース債務の返済による支出	△9,876	△14,101
社債の償還による支出	△50,000	△50,000
ストックオプションの行使による収入	60	—
自己株式の取得による支出	△109	△71
配当金の支払額	△22,193	△22,503
財務活動によるキャッシュ・フロー	183,866	280,371
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,861	3,167
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	44,995	△103,606
現金及び現金同等物の期首残高	1,173,485	728,889
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,218,481	625,282

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。